

# 平成21年度事業報告書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

特定非営利活動法人ゆったりNPO

## 1 宅老事業の取り組みについて

### (1) 事業全般

#### 意識してきた理念や考え方

ノーマライゼーションの理念のもと高齢者や障害者が安心して暮らせるよう「支え合い・助け合う」町づくりを口指す。

「デイホームゆったり」が地域の高齢者達の拠り所になれる施設づくりを目指す。

高齢者が何時までも元気に地域で安心して暮らせるよう「閉じこもり予防・病氣予防・認知症予防」に取り組む。

#### 取り組みの実際と効果

同じ理念を持って活動を行っている「アテラーノ旭」や高知市から入浴サービスの委託を受け活動をしている「旭の銭湯を存続させる会」、地域の健康を守る活動をしている「医療生協班」に呼びかけて、地域で支えあい・助け合うネットワークでの取り組みを行いました。その中で「第二回 旭を元気に年忘れ懇親会」では障害者施設や高齢者施設への呼びかけを行い地域との繋がりを広げて行きました。

年忘れ懇親会は150名の人場者の内、60名の高齢者が舞台に出演、中でも不自由な身体で素晴らしい歌声を披露してくれたAさんに多くの方が刺激を受け「私も来年こそは頑張って舞台で歌いたい」と勇気づけられた方も沢山居りました。なによりも「旭に住みよって良かった、元気になれる」と言って下さったのが大きな効果でした。

### (2) 趣味活動

#### 意識してきた理念や考え方（各種教室や催しなど）

昨年と同じく、生きがい作りと健康のためのカラオケ、俳句、コーラス、文章教室、いきいき百歳体操、健康チェック等の講座の他、新たに健康マージャンを取り入れ、楽しみながら脳を活性化させる取り組みを目指した。又、利用者主体の行事や、四季折々の行楽の機会を作り利用者さんが主体になれるよう心掛けた。

#### 取り組みの実際と効果

利用者の多くは、家族と出かける機会も無いし、気の合う仲間と出かけるのを楽しみにしてくれています。高齢期の鬱状態の人や不安感の強い人も、仲間らと外出することが気晴らしになり、元気を取り戻しています。安全確認の下見や、不慮の事故に備えての準備も大変ですが、出来るだけ希望に応えるようにしました。各趣味の講座の他に遠足・花見・誕生日会等、行事の度に仲間意識も強くなってきています。

病氣と孤独と死についてばかりを嘆いていた人も仲間が居る事に、勇気と元気を貰っています。

### (3) 地域との交流

#### 意識してきた理念や考え方（地域住民との交流など）

高齢者の多い旭でこそ、地域社会で「支え合い助け合う仕組み」を作る必要があるとの考え方の下に、ゆるやかなネットワークを組んで地域での活動を行って来ました。

#### 取り組みの実際の効果

その中で、理念を共有する「アテラーノ旭」の手助け事業部がスタートし、現在、ゆっつりの利用者さんや、地域の高齢者家庭を支えてもらう力となってくれています。

ゆっつりは地域の一員として、町内会の班長や不燃物の当番、川掃除、ご近所とのお付き合いを大切にし、信頼をして頂いています。ご近所は高齢者ばかりですが、給食の時やゴミ捨て等ちょっとしたお手伝いをして下さり助かって居ます。

### (4) 地域高齢者支援センター各出張所等との連携

#### 取り組みの実際と効果（民生委員、地区社協、福祉施設等具体的な機関名も記入）

地域の方が道順が分からなくなり、言動が少しおかしくなった事に気付き、支援センターと連絡をとり合い、対応策を協議した。

今後も地域の中でのケースについては、関係機関とも連携を取って対応して行きたい。

## 2、利用者への取り組みについて

### (1) 意識してきた理念や考え方（現利用者・利用休止している方・未利用者への働きかけ配慮）

高齢者が何時までも元気に地域で豊かにくらすよう「閉じこもり予防・病気予認知症予防」に意識した取り組みを行う。その為の趣味の講座や、誕生日会等の行事、四季折々の行楽などを企画・実施する。

利用休止している方々にはなるだけ声がけをし、実態把握に努める。

### (2) 取り組みの実際と効果（意識して取り組んだ内容）

子供達には迷惑を掛けたくないが高齢者の多くの方は思ってしまう。

その為、気の合う仲間と外出したり、趣味活動で充実した日々を送れるよう工夫して来ました。秋のコスモス見学、冬は「旭を元気に年忘れ懇親会」・春は花見・誕生日会や敬老会、講座の仲間同士で佐川への花見句会等も行ってきました。

こうした取り組みは生きがいと元気の源となり、高齢者の生活の質を高める結果に繋がっていると思います。

## 3、ボランティアとの関わり

### (1) ボランティアへの関わりや考え方

デイホームゆっつりでは、利用者さん自身の生きがいとなれる事を見出して、ボランティア活動に参加して欲しい。それとNPOの会員さんや地域の方による手助けが加わって、貰えるのがベストだと考え努力しているところです。

### (2) 実際の活動状況と成果

現在、生甲斐を見出し、コーラスの講座でキーボードの演奏をして下さる方と短歌会の講師を引き受けて下さっている利用者さんがいます。

そのお一人は脳梗塞による、言語が不自由でリハビリを兼ねて、生きがいに、短歌の指導を受け持って下さっています。講座を受ける皆さんも講師への尊敬を持って接して下さい、お互いに良い影響を受け合いながら、短歌会を楽しんでいます。

#### 4、視察・研修について

受け入れ状況と感想

今年度は特にありませんでした。

#### 5、利用料・昼食代・入浴代について

利用料(半日)200円・昼食代400円・入浴代200円を上限としていますが各利用をいくらか設定していますか。

利用料 講座に参加した時だけ半日200円 カラオケ利用料半日300円

昼食代 400円

入浴代 現在入浴はおこなっていません

#### 6、受託法人との連携・連絡体制など

会員さんへのニュースを発行してデイホームゆったりの現状報告をしています。

地域へのイベントやバザー活動への協力を御願ひしています。

外出行事の時、看護師の会員さんに同行して頂き心強く安心して取り組んでいます。

#### 7、課題

宅老所の利用者さんは、多くの不安や淋しさを抱えて暮らしています。高齢になる程、孤独になり、人とのコミュニケーションの機会を失います。

宅老所へ来所された時、電話をかけて来られた時、皆さんが、聞いて欲しい話や、共感してもらいたい事も、沢山あったらうにと、いつも反省をしています。利用者さんの想いに応えるだけの余裕がないのです。もう少し、余裕を持って運営をしたい。

デイホームゆったりは設立から間もなく10年になります。当初からの利用者さんは101歳になられ施設に入られました。死亡された方は7名居られます。だんだん、耳が聞こえない、目が見えない、足腰が弱った等サポートが必要な方が増えてきました。

けれど、手助け出来る人手さえあれば、高齢になっても、地域社会の中で日常生活を豊かに送れます。私達はこの10年、宅老所の運営を通して、多くの事を経験し、学ぶ事ができました。私達が思っている以上に、宅老所の存在は、高齢者の生きがいと元気をつくり出し、介護予防を行い、地域生活を支える大きな力となっているのです。

しかしその現状は、昨年の予算削減を受け、職員給与引き下げや、ボランティアに実費必要経費も支払えず、切り詰めた資金繰りをしながらの活動を余儀なくされています。

高知市に置かれましては宅老所の役割を充分認識され、職員・ボランティア等余裕を持てる人員配置が出来るだけの財源を伴う、施策を実行して下さいますよう御願ひ致します。